

平成 20 年度 環境教育関連事業の実施状況

1 実施中または実施済みの事業

(1) 校外学習用バス貸出

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、小学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。今年度は、77 件（64 校）の応募があり、54 件（51 校）で実施する予定です。主な見学先は、清掃工場、水道記念館、下水道科学館などとなっています。

(2) 環境教育へのクリック募金

環境教育教材を市内の小学校に提供するため、環境プラザのホームページにクリック募金サイトを平成 17 年 5 月から設けています。平成 20 年 3 月末時点で約 604 万円の募金が集まり、市内の 81 の小学校に手回し発電機や水質分析キットなどの教材を提供しています。

(3) 環境プラザにおける総合学習支援

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用した「プラザツアー」を企画し、小中学校の総合学習の時間における学習の支援を進めているほか、一般市民向けにも環境保全アドバイザーの派遣等を行っています。

(4) 環境教育リーダーの追加養成

環境教育リーダー派遣件数の増加に対応するため、新たにリーダーの公募を行い、候補者に対して育成研修（講義及び実習）を実施しています。

(5) 環境教育施設バスツアー【新規事業】

複数の環境教育施設を天然ガスバスで回って体験学習を行うバスツアーを、環境教育情報誌を発行する企業との共催で開始しました。

(6) 環境未来カップ 2008

スポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうイベントを実施しています。優秀チームは、札幌ドームの天然芝でサッカーの試合ができます。

(7) こども環境サミット札幌【サミット関連事業】

6 月 27 日～29 日にモエレ沼公園をメイン会場に開催し、国内外の子どもたち 102 人が、環境問題についての講義や参加都市による発表などのプログラムを通じた交流を行い、「こども環境サミット札幌 宣言書」を世界に向けて発信しました。

2 今後進めていく事業

(1) 環境教育関連施策・事業一覧の作成

環境教育関連施策の進行状況や今後の方向性を示すとともに、札幌市の各部局で行われている環境教育に係る事業について取りまとめた冊子を作成する予定です(案:資料3)。

(2) 環境教育プログラム・総合的環境副教材の周知・活用の推進

環境教育プログラム・総合的環境副教材の周知を進めていきます。また、これらの活用状況や内容などについて、学校を対象にアンケート調査を実施するとともにホームページで公開し、寄せられた意見をもとに、プログラム・副教材をより良いものにしていく予定です。

(3) 環境コンテストの実施

市内の小学校・中学校・高校を対象に環境活動や環境に関する作品などについてコンテストを開催する予定です。

『環境教育の校外学習用バス貸出』事業

この事業は、市立小学校が授業や課外活動の中で、環境関連施設見学や自然体験など、環境に関する校外学習を行う場合に、バスを貸し出すことにより、効率的な学習を支援し、児童に数多くの体験学習をする機会を提供することを目的とし実施しています。

平成 20 年度は、77 件の申込があった中から、学習計画の提案内容が優秀であった 54 件の提案についてバスの貸出を行いました。主な見学先は、以下のとおりです。

主な見学先一覧

	分野	見学先	見学校数 (のべ)
1	ごみ減量・ リサイクル	清掃工場（白石、駒岡、発寒、篠路）	30
2	ごみ減量・ リサイクル	札幌リサイクル団地・駒岡資源選別センター	22
3	ごみ減量・ リサイクル	ばんけいリサイクルセンター	4
4	食育	丘珠たまねぎ畑、さとらんど	2
5	水とみどり	水道記念館	16
6	水とみどり	浄水場（藻岩・白川）	7
7	水とみどり	下水道科学館	8
8	水とみどり	水再生プラザ（創成川、厚別）	5
9	水とみどり	ダム（豊平峡、定山溪）	2

『環境教育へのクリック募金』

この事業は、札幌市環境プラザのホームページ内に企業の環境への取り組みを紹介するページを作り、そのページの1閲覧（1クリック）につき5円を、企業が環境教材の購入費用として寄附をするものです。なお、月間の上限を4,000クリックに設定しています。

平成19年度は10社の協力を得ており、クリック数は合計で1,065,421回となっています。その結果、平成20年度における環境教育教材の原資として、総額230万円の寄附をいただいております。

2 環境教育教材寄贈校及び教材

市内の全小学校に対し、希望する教材の利用方法の提案を募集し、申し込みのあった31校に対して、平成19年度分の寄附で手回し発電器などの環境教材を寄贈予定です。

（別紙 寄贈校一覧のとおり）

《 環境教育教材の一例 》

手回し発電器



燃料電池自動車



デジタルCO₂・O₂チェッカー



ひねもす（チラシ造作キット）



環境教材を寄贈する小学校及び教材（31校）

	小学校名	品名	数
1	豊)西岡北小	手回し発電機 KC	5
		手回し発電機実験セット GS-SN	4
2	北)北九条小	デジタルCO ₂ チェッカー CD-1	1
		コンパクトpHメーター ツインB-212	1
3	中)幌南小	手回し発電機 KC	16
		手回し発電機実験セット GS-SN	3
4	中)円山小	ワットチェッカー(消費電力計) TAP-TST5	1
		簡易型電力量表示器 エコワット	8
		LED・電球エネルギー比較実験器 LME	1
		手回し発電機 KC	10
		手回し発電機実験セット GS-SN	1
		手作りはがきセット ぼすたるくん	2
5	豊)福住小	手作りはがきセット ぼすたるくん	100
6	白)南郷小	ワットチェッカー(消費電力計) TAP-TST7	1
		手回し発電機 KC	20
		手回し発電機実験セット GS-SN	2
7	手)新発寒小	デジタルCO ₂ ・O ₂ チェッカー CD-2	1
		チラシ造形物作成キット ひねもす	2
		ひねもす用部品 モスカーブ	4
		ひねもす用ジョイント 3ピン(25コ入)	2
		ひねもす用ジョイント 4ピン(25コ入)	2
		ひねもす用ジョイント 5ピン(25コ入)	2
ひねもす用ジョイント 6ピン(25コ入)	2		
8	中)山鼻南小	デジタルCO ₂ ・O ₂ チェッカー CD-2	1
9	厚)上野幌小	手作りはがきセット ぼすたるくん	45
10	東)苗穂小	デジタルCO ₂ ・O ₂ チェッカー CD-2	1
11	中)桑園小	ワットチェッカー(消費電力計) TAP-TST7	1
		手回し発電機実験セット GS-SN	4
12	東)福移小	燃料電池自動車 H-racer	5
13	北)新琴似小	デジタルCO ₂ ・O ₂ チェッカー CD-2	1
		コンパクトpHメーター ツインB-211	1
14	東)栄小	デジタルCO ₂ ・O ₂ チェッカー CD-2	1

	小学校名	品名	数
15	白)幌東小	燃料電池自動車 H-racer	1
		簡易型電力量表示器 エコワット	10
		手回し発電機 KC	10
		太陽電池素子板セット L-500-20K	1
16	豊)旭小	太陽電池素子板セット L-500-20K	2
17	白)大谷地小	ワットチェッカー(消費電力計) TAP-TST5	1
		簡易型電力量表示器 エコワット	3
		LED・電球エネルギー比較実験器 LME	1
		太陽電池素子板セット L-500-20K	2
18	中)山鼻小	手回し発電機 KC	45
19	中)伏見小	太陽電池素子板セット L-500-20K	3
20	清)平岡公園小	ワットチェッカー(消費電力計) TAP-TST7	1
		簡易型電力量表示器 エコワット	5
		手回し発電機 KC	10
		手回し発電機実験セット GS-SN	1
太陽電池素子板セット L-500-20K	1		
21	南)真駒内緑小	手回し発電機 KC	40
22	西)山の手小	デジタルCO ₂ ・O ₂ チェッカー CD-2	1
23	中)中央小	手回し発電機 KC	10
		手回し発電機実験セット GS-SN	1
		太陽電池素子板セット L-500-10K	1
24	厚)みずほ小	手回し発電機実験セット GS-SN	4
25	東)札苗緑小	手回し発電機実験セット GS-SN	4
26	厚)厚別通小	手回し発電機 KC	37
		手回し発電機実験セット GS-SN	1
27	南)藤野小	太陽電池素子板セット L-500-20K	3
28	西)発寒東小	手回し発電機 KC	35
		手回し発電機実験セット GS-SN	1
29	北)新川小	手回し発電機 KC	47
30	豊)東園小	デジタルCO ₂ チェッカー CD-1	1
31	東)北園小	手回し発電機 KC	10
		手回し発電機実験セット GS-SN	2
		太陽電池素子板セット L-500-20K	1

『環境プラザにおける総合学習支援』事業の状況（平成20年8月末時点）

・環境保全アドバイザー

市民団体や町内会などのグループが環境について学習する観察会や学習会等を開催する際に、市が委嘱した各環境分野の専門家を派遣する制度で、今年度の派遣回数は、20件で1733人の市民が、受講しています。

・環境教育リーダー

学校の総合学習の時間や市民の環境に関する学習会などへ、助言や解説等を行う人材（環境教育リーダー）を派遣する制度で、今年度の派遣回数は、11件で、669人の市民が、受講しています。

うち、小・中学校への派遣は、4件となっています。

・施設見学対応

小・中学校における総合学習の受け入れや、市民団体等の施設見学を受け入れています。

総合学習				施設見学				展示コーナー	
小学校		中学校		町内会		その他		大人	子ども
人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数		
166	4	113	9	0	0	669	42	5,235	2,699
(計) 279人		13		669人		42		7,934人	

・環境相談員対応

環境プラザの受付カウンターに環境相談員を配置し、市民や事業者からの環境に関する相談を受けています。今年度は、北海道洞爺湖サミットが開催され、環境に関する関心が高まっていることから、相談件数が昨年度に比べ増加しています。

〔相談対応 10:00～18:00（月、水、金、土）〕

環境教育リーダーの追加養成

札幌市環境教育リーダー制度は、主に小学校の総合的な学習の時間や市民グループの環境に関する観察会・学習会を支援する人材を派遣する制度として、平成14年4月より運用を開始しております。

現在、自然観察分野の環境教育リーダー（以下「リーダー」という。）の補充のため、9人の研修生が実地研修として現リーダーが派遣される現場へ見学に行く他、現在リーダーとして活躍されている方々を講師として、リーダー研修生を対象とした現場での講習会を開催しています。

研修スケジュール

手 順	時 期	内 容	実施状況
募集	6月	【広報媒体】 広報さっぽろ6月号、ホームページ（環境保全のページ、環境プラザホームページ）、チラシなど 【応募資格】 18歳以上で、札幌市内を拠点に環境に関する活動を行っている方又は行いたいと考えている方 【募集人員】 特に定めませんが、10人を目安とする。 9人応募	実施済
面接	随時 (6～7月)	【内容】 リーダーとしての適性を確認する。 【面接者】 環境都市推進部推進課長	実施済
研修1 派遣同行	面接終了後 (8～11月)	【方法】 リーダーの派遣に研修生として同行し、実際に行われる活動について学ぶ。 【回数】 2事例程度 実際の派遣と研修生のスケジュールが合わない場合は、現リーダーを講師として、自然観察についての実地研修を行うこととする。	実施中
研修2 基礎講座	11～12月頃	【期間】 3日程度 【内容】 市の環境施策概要（講師：環境局職員） 学校における環境教育（講師：教育委員会指導主事） コミュニケーション基礎講座・自然観察に関する講義（外部講師） 現リーダーとの意見交換会など	今後実施
意思確認	研修終了後	委嘱の承諾書受理	今後実施
委嘱	承諾書受理後	委嘱状交付	今後実施

環境教育施設バスツアー【新規事業】

【バスツアー概要】

小学生向けの環境教育情報誌「エコチル」を発行する株式会社アドバコムとの共催で、小学生及びその親を対象に、市内の環境教育関連施設をクリーンエネルギーバス（圧縮天然ガスバス、ハイブリッドバス等）で回り、各施設において環境に関する体験学習を実施。告知や参加者の募集は、エコチル編集部が発行する環境教育情報誌「エコチル」や、エコチルのホームページ(<http://ecochil.net/>)で行っている。

【第1回バスツアーについて】

日時

平成20年7月31日(木) 9:00～17:00

対象・人数

札幌市内在住の小学生及びその親 24人(12組)

スケジュール

9:00 集合(札幌市環境プラザ)

[移動]

10:00 北海道ガス「サガティック」にて、エコ・クッキングの講義・実習及び昼食

[移動]

14:00 札幌市下水道科学館にて下水処理に関する体験学習

[移動]

16:10 札幌市環境プラザにて、展示物を使った省エネ・ごみ減量などの体験学習

17:00 解散(札幌市環境プラザ)

【第2回バスツアーについて】

日時

平成20年9月20日(土) 9:00～17:00

対象・人数

札幌市内在住の小学生 30人

スケジュール

9:00 集合(札幌市環境プラザ)

[移動]

10:20 白旗山「ふれあいの森」にて自然体験(炭火で作るバームクーヘン・ネイチャーゲーム)、昼食

[移動]

14:50 北海道コカ・コーラボトリング札幌工場にて工場見学

[移動]

16:30 札幌市環境プラザにて、展示物を使った省エネ・ごみ減量などの体験学習

17:00 解散(札幌市環境プラザ)

「グリーンゴール・チャレンジ」開催結果

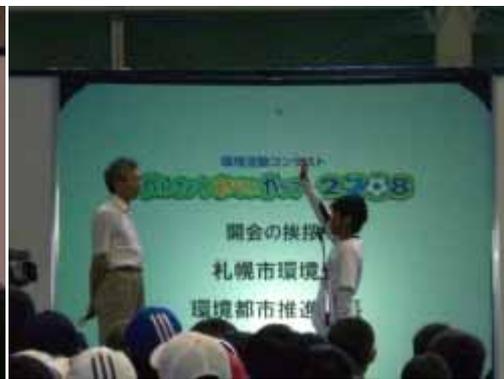
2008年8月12日、札幌サッカーアミューズメントパークで、かんきょうみらいカップ2008「グリーンゴール・チャレンジ」を開催しました。

34チーム、合計313人が参加(登録は37チーム、346人)し、フットサル大会で楽しく交流しながら、環境に関するクイズで環境問題への知識を競いあいました。

開会式



開会式では、新陵東キッカーズの山本君によって、「サッカーを通じて友達の輪を広げ、そしてこの美しい大地を次世代の子供たちに残していけるよう、環境を守る活動を行います。」と、元気よく選手宣誓しました。



フットサル大会 / グリーンゴール・クイズ



午前中はフットサル大会で楽しく交流しながら、グラウンドの周りにあるヒントパネルや環境に関するパネルを見ながら、環境に関する「グリーンゴール・クイズ」を、チーム全員で考えながら解答し、環境について学びました。



環境 ×クイズ



午後からは、午前中に学んだ環境についての知識を生かしながら、環境 ×クイズに挑戦しました。中には正解チームが少なかった難問もあり、環境についてたくさん考えることができました。



パルメイラスFC(ブラジル)U - 16との交流会

環境 ×クイズの後は、ブラジルのパルメイラスFC U - 16の選手たちが会場にやってきて、参加した子どもたちと楽しく交流しました。



閉会式

各カテゴリーのフットサル大会、環境 ×クイズの優勝チームには、協賛企業の代表者から表彰状が贈られました。



この日行われた2種類の環境クイズで獲得したポイントに加え、10月に提出する「環境活動ノート」「施設見学ノート」のポイントを合計して12月6日に開催される札幌ドームでの試合出場を目指して、各チームは環境保全活動に取り組んでいきます！



各賞を受賞したチーム

カテゴリー1 フットサル大会 優勝

北郷サッカースポーツ少年団C

カテゴリー2 フットサル大会 優勝

元町北サッカー少年団B

カテゴリー1 環境 ×クイズ 優勝

あいの里サッカースポーツ少年団

カテゴリー2 環境 ×クイズ 優勝

北郷サッカースポーツ少年団B
